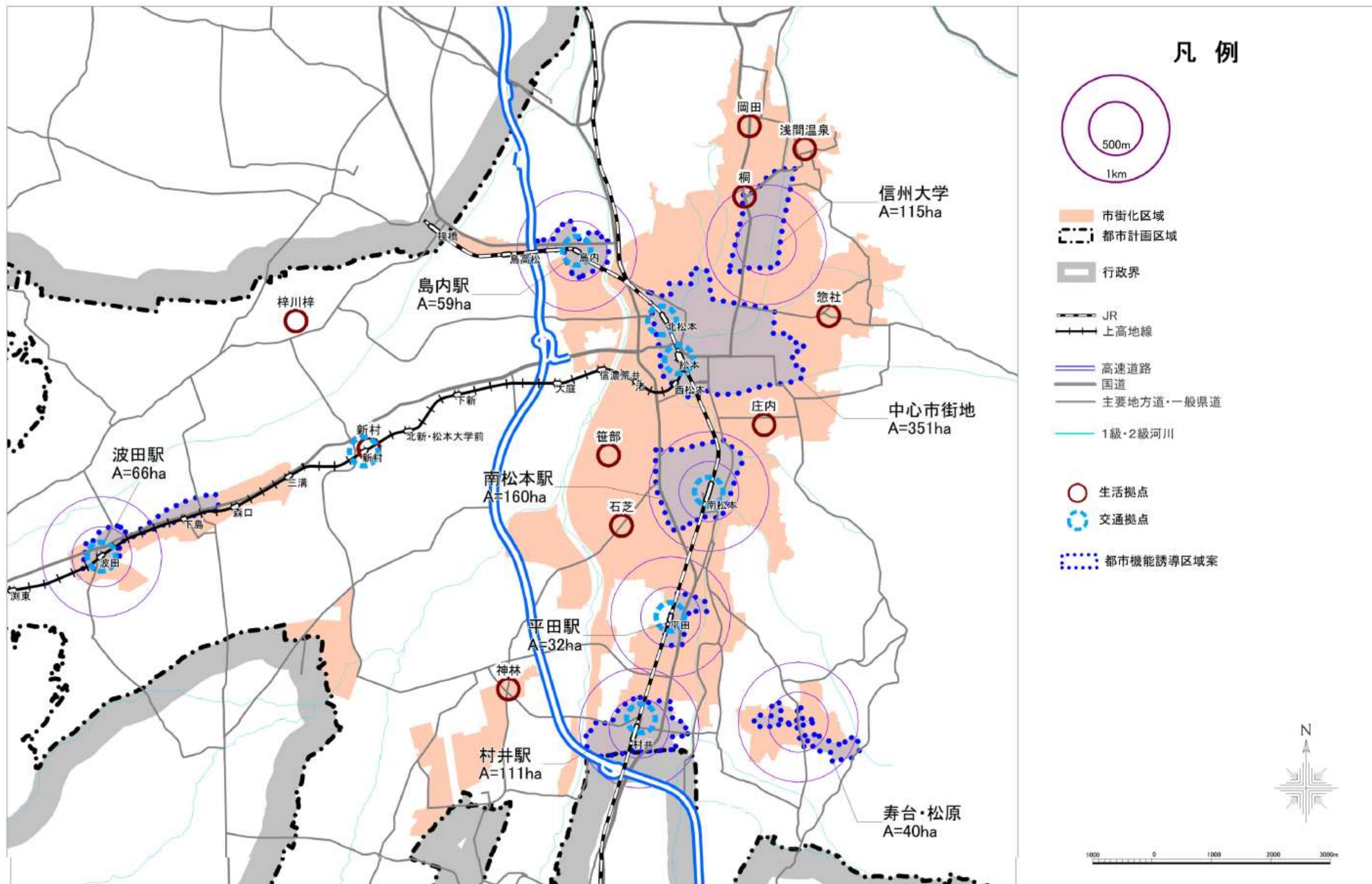


■ 拠点別のカルテ



■ 都市中心拠点 【中心市街地】 1/2

【地区の特徴】

総括：松本都市圏の歴史的・文化的・経済的な都市活動の中心拠点
 ● 行政、商業や医療等の高次の施設が集積し、歴史や文化施設も多数立地している
 ● 市全域に跨る広域の住民が通院・買い物等で利用している
 ● 人口減少・高齢化の進行が遅く、生活に必要な施設や公共交通のサービス水準は概ね維持の見込み

【上位関連計画での位置づけ】

松本市都市計画マスタープラン
 都市中心拠点(松本駅前)、交通拠点(松本駅)、歴史・文化・観光拠点(松本城、旧開智学校、あがたの森)、医療拠点(相澤病院、松本協立病院)

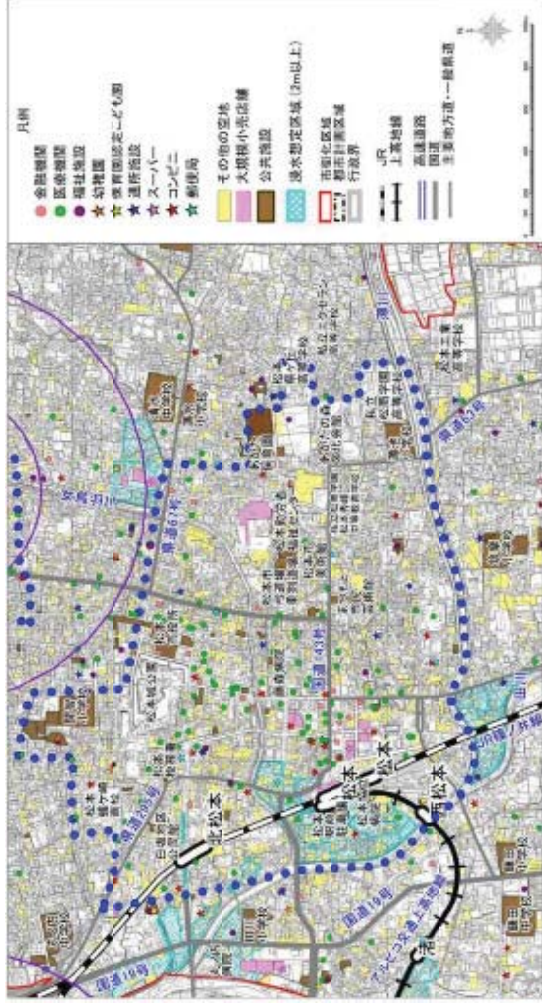
【基礎データ】

面積	351ha
人口	人口密度 50人/ha(H22)→55人/ha(H52) △:40人/ha以上
	高齢化率 31%(H22)→30%以上(H52) ▼:市平均35%未満
交通アクセス	・JR篠ノ井線 松本駅 ・・乗降客数 31,728人/日(H24) ・運行頻度 137本/日(H26.3)
	・アルピコ交通上高地線 松本駅 ・・乗降客数 3,452人/日(H24) ・運行頻度 50本/日(H26.3)
	・バス ・・25~49本/日

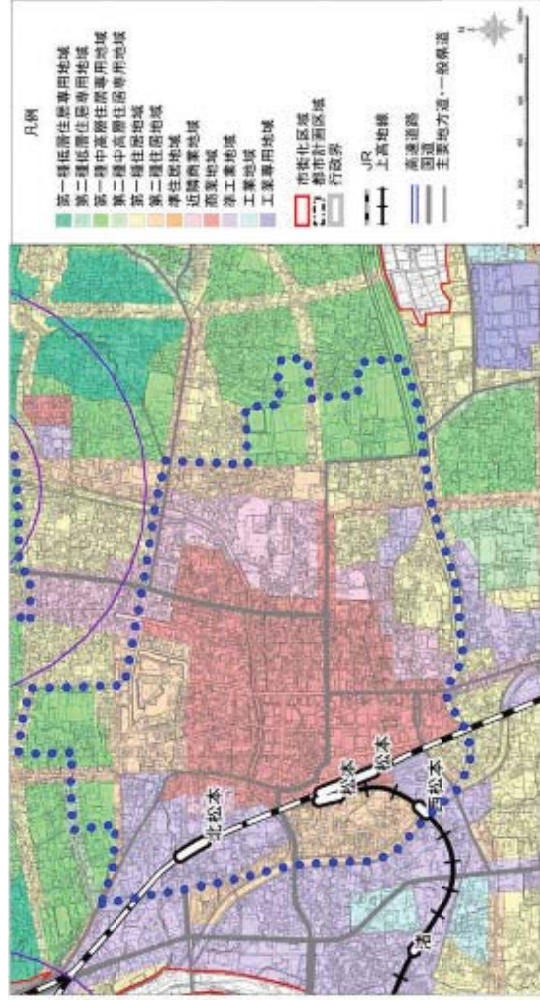
	施設	地域内
行政	市の主要行政施設 国県の主要行政施設	
商業	大規模集客施設(劇場、映画館等)※公共施設も含む 大規模小売店舗 ※大規模集客施設との重複あり 食料・日用品店舗(生鮮食品等) コンビニエンスストア	2 5 0 16
医療	高次の医療機関(2次・3次医療機関) 一般病院・診療所	3 92
福祉	高齢者福祉施設(地域密着型除く)※通所施設を集計 生き甲斐の仕組みをつくる施設 ※福祉ひろばを集計	6 5
子育て	子育て支援施設(相談・支援の拠点)※幼稚園・保育園等 学生や子どもが集う施設(まちなか学習施設等)	3
金融	日銀、その他金融機関の本店機能等	29
文化	市の基幹となる博物館、美術館等 市の基幹となる図書館 情報発信施設(観光や生活の情報発信)	4 0
コンベンション	コンベンション施設	8
教育研究	広域的に学生等が集まる学校※高校・大学等 大学等の研究機関、まちなかキャンパス	0 0
事業	創造の場(文化芸術と産業をつなぐ施設) エネルギー高度利用施設 (コージェネレーションシステム等) 本社機能(工業系事業所等を除く)	

都市機能
立地状況

【区域図】



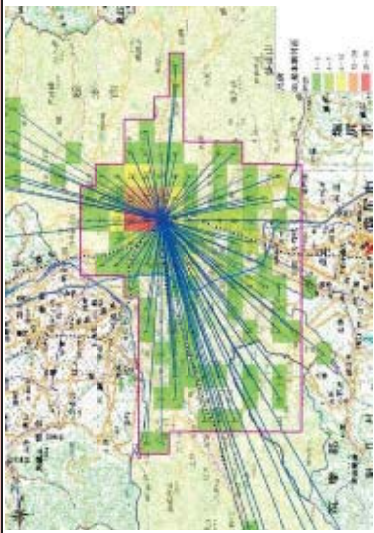
地形地物・
主要な敷地
との重ね図



用途地域
との重ね図

■ 都市中心拠点 【中心市街地】 2/2

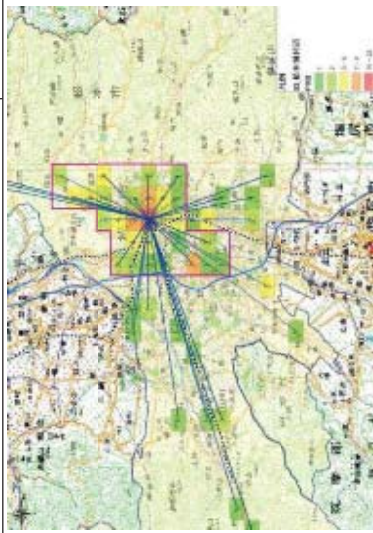
【基礎データ】 つづき



トリップ数の全市における割合 10.2% 市内1位

松本駅前近を
通院・買物等で利用
する住民の移動
(H26)

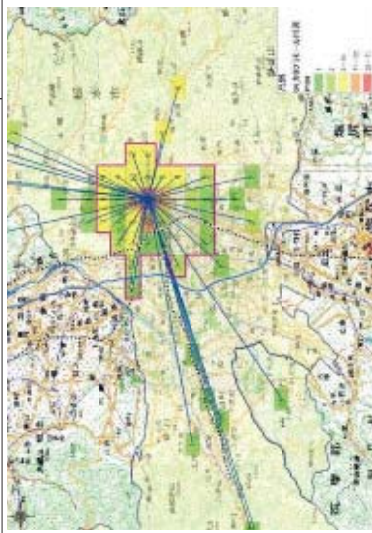
※松本市・山形村の在住者
を対象としたサンプル調査
でのトリップ数



トリップ数の全市における割合 3.1% 市内6位

松本城付近を
通院・買物等で利用
する住民の移動
(H26)

※松本市・山形村の在住者
を対象としたサンプル調査
でのトリップ数

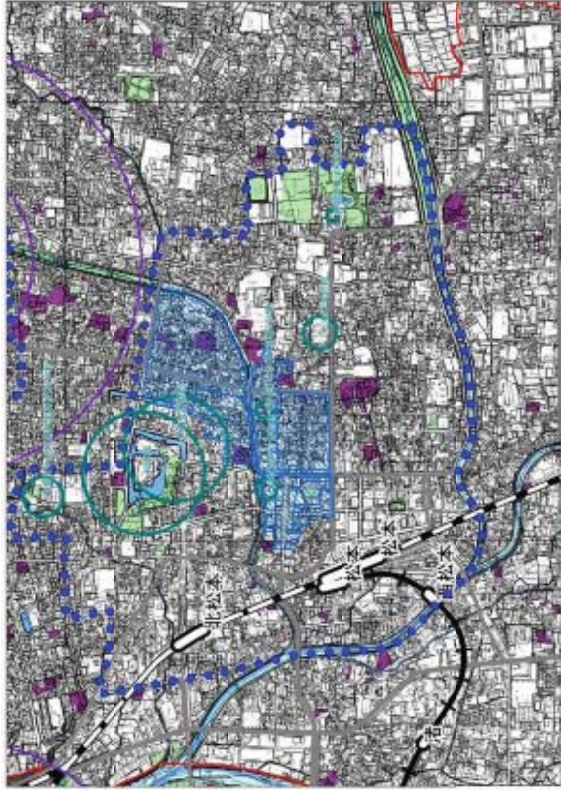


トリップ数の全市における割合 5.4% 市内2位

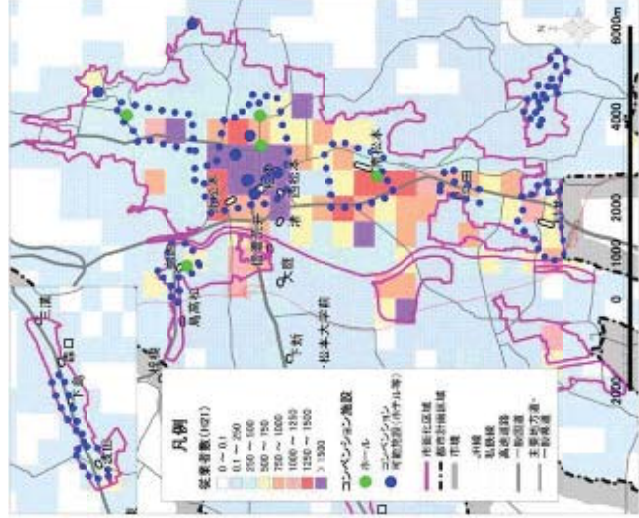
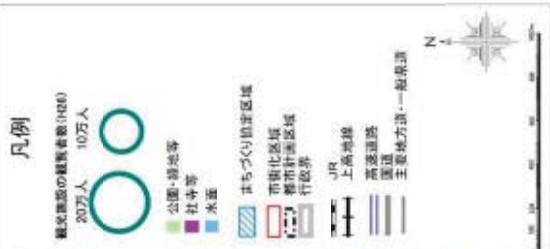
カタクラモール付近を
通院・買物等で利用
する住民の移動
(H26)

※松本市・山形村の在住者
を対象としたサンプル調査
でのトリップ数

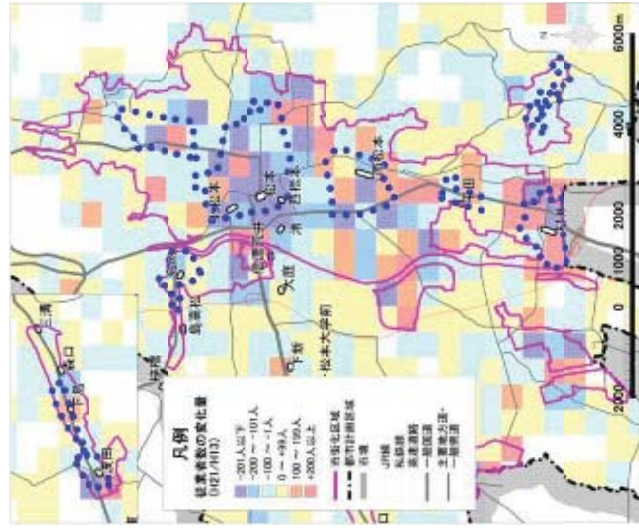
【区域図】 つづき



観光施設等と
の重ね図



従業者の分布と
コンベンション
施設の立地状況
および
従業者数の変化
との重ね図



地域拠点① 【南松本駅周辺】

【地区の特徴】

- 総括：中心市街地近郊の暮らしの拠点**
- 大規模集客施設や高校、図書館等、多様な施設が立地している
 - 松本の市街地全体に跨るような広域の住民が通院・買い物等で利用している
 - 人口減少・高齢化の進行が速く、生活に必要な施設や公共交通のサービス水準は概ね維持の見込み

【上位関連計画での位置づけ】

松本市都市計画マスタープラン	交通拠点(南松本駅)
面積	160ha
人口	人口密度 42人/ha(H22)→~50人/ha(H52) 高齢化率 19%(H22)→~40%(H52) △:40人/ha以上 △:市平均35%以上
交通アクセス	・JR篠ノ井線 南松本駅 ・・乗降客数2,702人/日(H24) ・運行頻度 91本/日(H26.3) ・市街地南部循環線 25~49本/日

【基礎データ】

施設	駅から500m	駅から500m~1km	合計
行政	—	—	—
商業	大規模集客施設(劇場、映画館等)※1 大規模小売店舗※大規模集客施設との重複あり 食料・日用品店舗(生鮮食品等) コンビニエンスストア	0 1 0 1	1 3 1 8
医療	高次の医療機関(2次・3次医療機関) 一般病院・診療所	0 5	0 11
福祉	高齢者福祉施設(地域密着型除く)※2 生き甲斐の仕組みをつくる施設※3	0 1	0 1
子育て	子育て支援施設(相談・支援の拠点)※4 支店、郵便局等	1 3	0 5
金融	支店、郵便局等	0	0
文化	音楽ホール、文化ホール※5 図書館分館	0 0	0 1
教育研究	広域的に学生等が集まる学校※高校・大学等 民間事業所等	1	0
事業	—	—	—

南松本駅付近を
通院・買物等で利用
する住民の移動
(H26)



※松本市・山形村の在住者を対象としたサンプル調査でのトリップ数

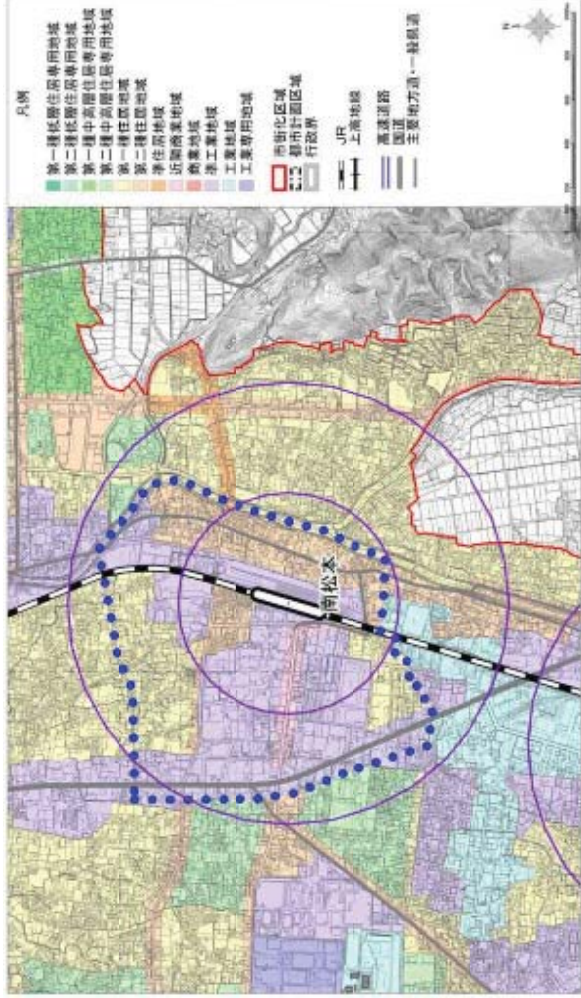
トリップ数の全市における割合 1.7%

市内 15 位

【区域図】



地形地物・
主要な敷地
との重ね図



用途地域
との重ね図

地域拠点② 【村井駅周辺】

【地区の特徴】

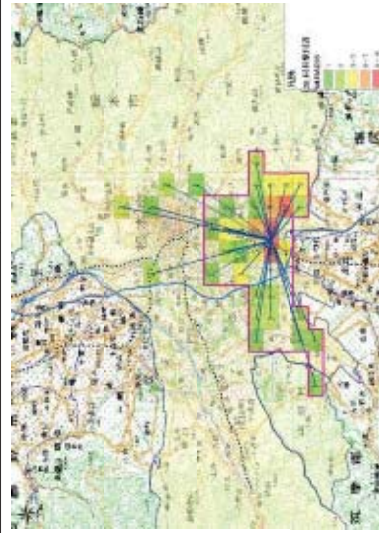
- 総括：松本市南部の暮らしを支える拠点**
- 松本病院や大規模小売店舗、高校(予定)等の多様な施設が立地している
 - 松本の南部に跨る広域の住民が通院・買い物等で利用している
 - 人口減少・高齢化の進行が速く、生活に必要な施設や公共交通のサービス水準は概ね維持の見込み

【上位関連計画での位置づけ】

松本市都市計画マスタープラン
交通拠点(村井駅)、医療拠点(まつもと医療センター松本病院)

【基礎データ】

面積	111ha	施設	駅から500m	駅から500m～1km	合計
人口	人口密度 40人/ha(H22)→～50人/ha(H52) 高齢化率 21%(H22)→～50%以上(H52)	—	0	0	0
交通アクセス	● JR篠ノ井線 村井駅 ● 運行頻度 93本/日(H26.3) ● 寿台線、D線 10～24本/日	大規模集客施設(劇場、映画館等)※1 大規模小売店舗※大規模集客施設との重複あり 食料・日用品店舗(生鮮食品等) コンビニエンスストア 高次の医療機関(2次・3次医療機関) 一般病院・診療所 高齢者福祉施設(地域密着型除く)※2 子育て支援施設(相談・支援の拠点)※4 支店、郵便局等 音楽ホール、文化ホール※5 図書館分館 広域的に学生等が集まる学校※高校・大学等 民間事業所等	0	0	0
都市機能立地状況	△:40人/ha以上 △:市平均35%以上	0	0	0	0
行政		0	3	3	0
商業		0	0	0	0
医療		1	5	6	1
福祉		12	9	21	5
子育て		0	0	0	0
金融		1	2	3	0
文化		3	2	5	0
教育研究		0	0	0	0
事業		0	0	0	0



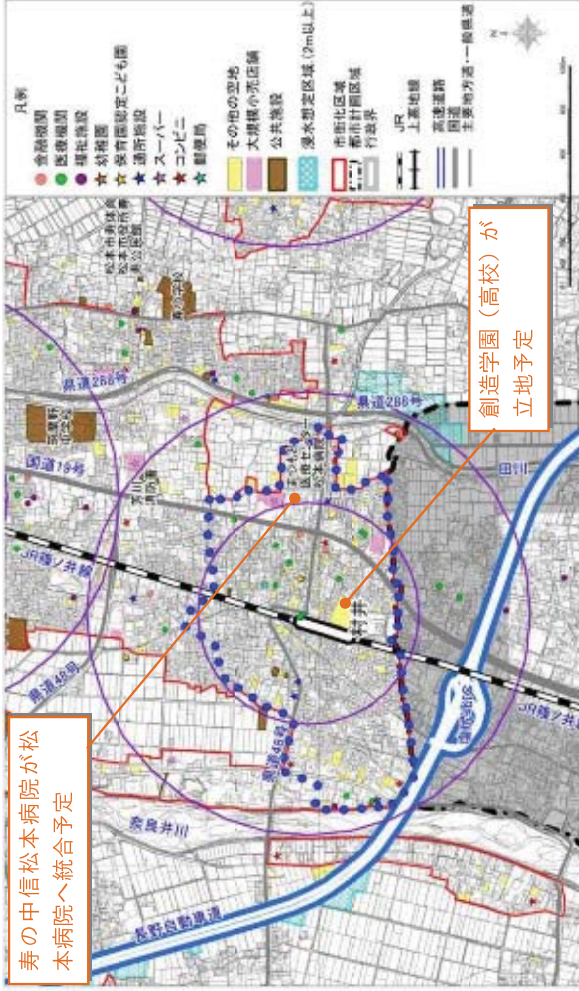
トリップ数の全市における割合 1.5%

市内20位

村井駅付近を
通院・買い物等で利用
する住民の移動
(H26)

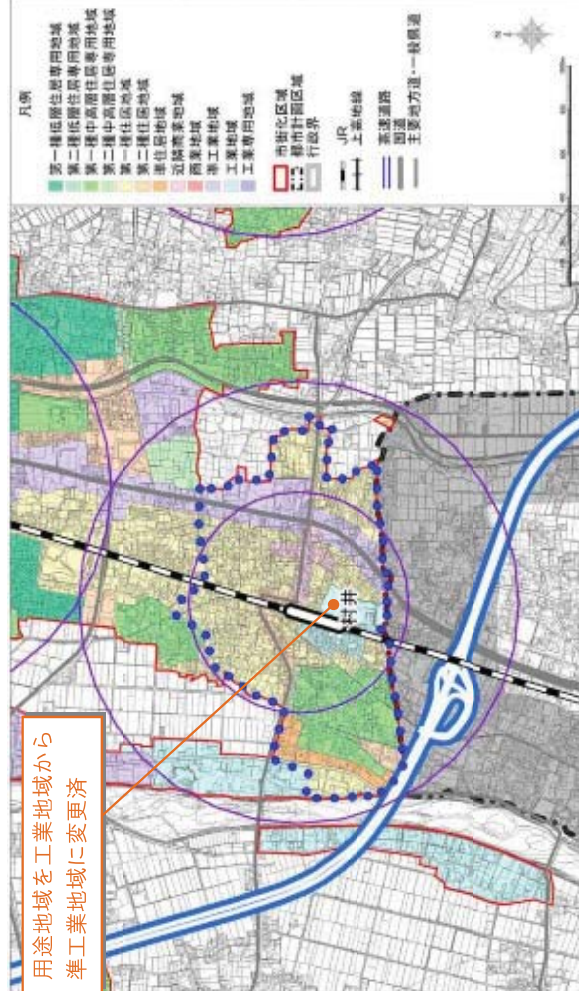
※松本市・山形村の在住者
を対象としたサンプル調査
でのトリップ数

【区域図】



寿の中信松本病院が松
本病院へ統合予定

創造学園(高校)が
立地予定



用途地域を工業地域から
準工業地域に変更済

用途地域
との重ね図

地域拠点③ 【平田駅周辺】

【地区の特徴】

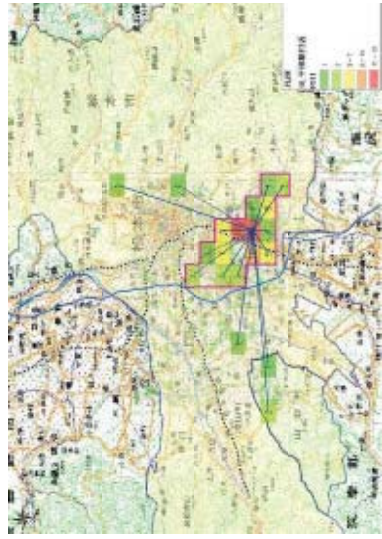
- 総括：国道19号沿道の暮らしを支える拠点**
- 買い物や病院等の生活に必要な施設の他、駅西口にはパークアンドライドの駐車場がある
 - 拠点周辺の住民が通院・買い物等で利用している
 - 人口減少・高齢化の進行が早く、生活に必要な施設の不足や公共交通のサービス水準の低下が懸念

【上位関連計画での位置づけ】

松本市都市計画マスタープラン	交通拠点(平田駅)
面積	32ha
人口	36人/ha(H22)→~30人/ha(H52) ▼:40人/ha未滿 △:市平均35%以上
高齡化率	21%(H22)→~40%(H52)
交通アクセス	・JR篠ノ井線 平田駅 ・・・乗降客数2,690人/日(H24) ・運行頻度 91本/日(H26.3) ・B線、E線 1~9本/日

【基礎データ】

	施設	駅から		合計
		500m	500m~1km	
行政	—	0	0	0
商業	大規模集客施設(劇場、映画館等)※1 大規模小売店舗※大規模集客施設との重複あり 食料・日用品店舗(生鮮食品等) コンビニエンスストア	0	1	1
医療	高次の医療機関(2次・3次医療機関) 一般病院・診療所	0	0	0
福祉	高齢者福祉施設(地域密着型除く)※2 生き甲斐の仕組みをつくる施設※3	0	3	3
子育て	子育て支援施設(相談・支援の拠点)※4	0	0	0
金融	支店、郵便局等	2	2	4
文化	音楽ホール、文化ホール※5 図書館分館	0	0	0
教育研究事業	広域的に学生等が集まる学校※高校・大学等 民間事業所等	1	1	2



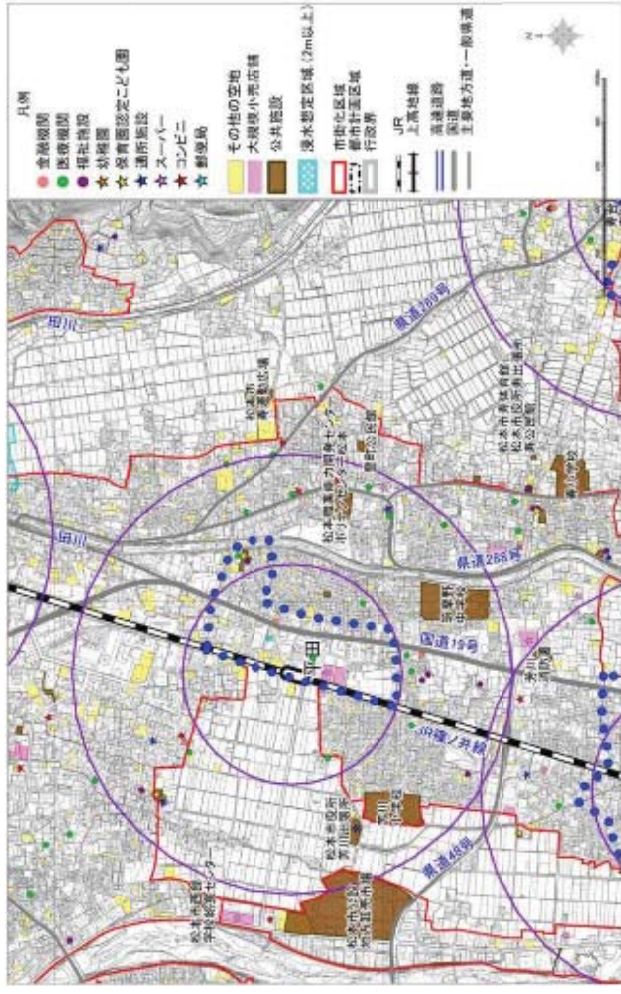
平田駅付近を
通院・買い物等で利用
する住民の移動
(H26)

※松本市・山形村の在居者
を対象としたサンプル調査
でのトリップ数

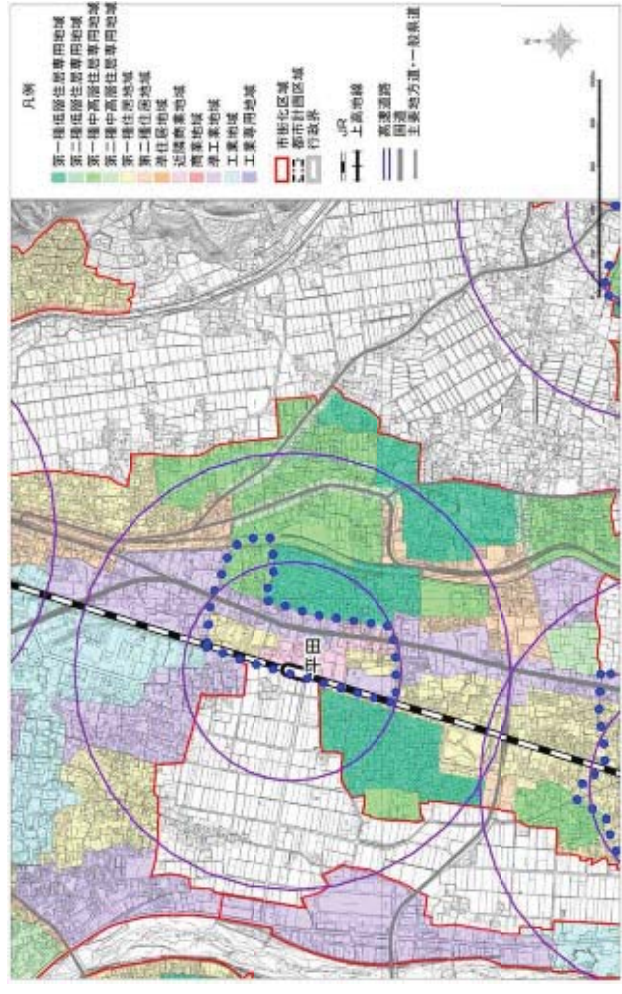
トリップ数の全市における割合 1.6%

市内 16位

【区域図】



地形地物・
主要な敷地
との重ね図



用途地域
との重ね図

地域拠点④ 【島内駅周辺】

【地区の特徴】

総括：島内の暮らしを支える拠点

- 買い物や病院等の生活に必要な施設他、駅前には市の音楽文化ホールが立地している
- 拠点周辺の住民が通院・買い物等で利用している
- 人口減少・高齢化の進行が早く、生活に必要な施設の不足や公共交通のサービス水準の低下が懸念

【上位関連計画での位置づけ】

松本市都市計画
マスタープラン

交通拠点(島内駅)

【基礎データ】

面積	59ha	
人口	人口密度	32人/ha(H22)→20人/ha以下(H52)
	高齢化率	22%(H22)→50%以上(H52)
交通アクセス	鉄道	・JR大糸線 島内駅 ・・乗降客数 750人/年(H19)
	バス	・運行頻度 50本/日(H26.3) ・A線 1～9本/日
行政	施設	駅から500m 500m～1km 合計
	—	1 0 1
商業	大規模集客施設(劇場、映画館等)※1	1 0 1
	大規模小売店舗※大規模集客施設との重複あり	1 0 1
医療	食料・日用品店舗(生鮮食品等)	0 0 0
	コンビニエンスストア	2 0 2
都市機能立地状況	高次の医療機関(2次・3次医療機関)	0 0 0
福祉	一般病院・診療所	6 2 8
	高齢者福祉施設(地域密着型除く)※2	3 2 5
子育て	子育て支援施設(相談・支援の拠点)※4	0 1 1
	支店・郵便局等	3 0 3
金融	音楽ホール、文化ホール※5	1 0 1
	図書館分館	0 1 1
教育研究事業	広域的に学生等が集まる学校※高校・大学等	0 0 0
	民間事業所等	0 0 0



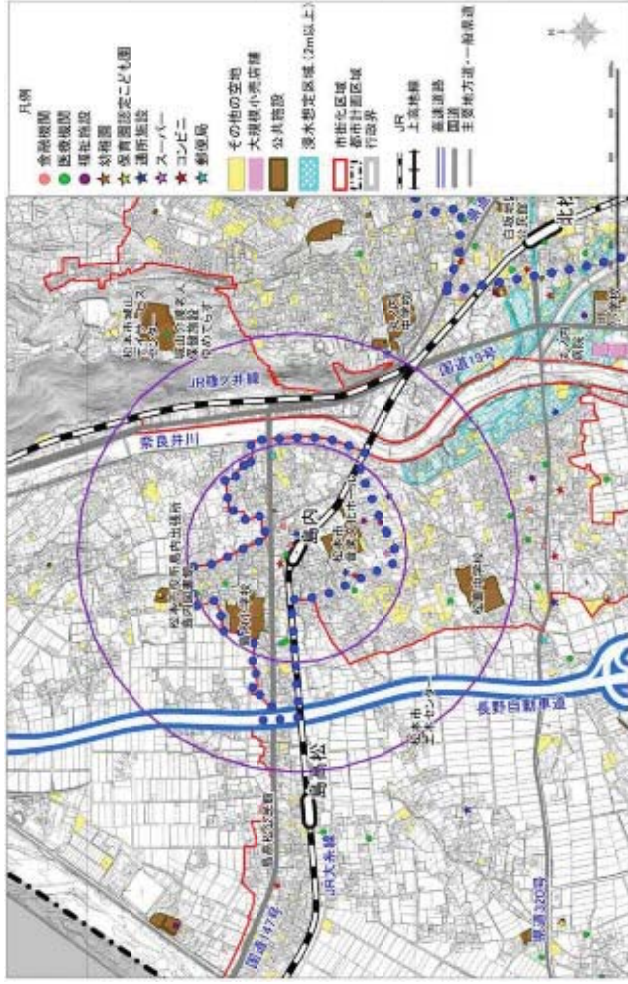
島内駅付近を
通院・買物等で利用
する住民の移動
(H26)

※松本市・山形村の在住者
を対象としたサンプル調査
でのトリップ数

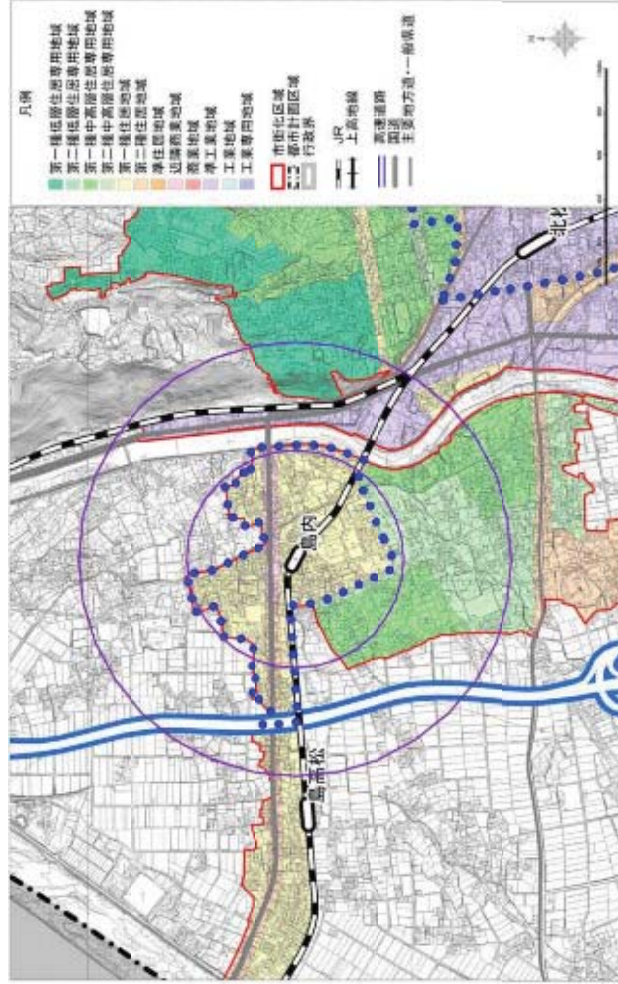
トリップ数の全市における割合 1.4%

市内 22 位

【区域図】



地形地物・
主要な敷地
との重ね図



用途地域
との重ね図

地域拠点⑤ 【波田駅周辺】

【地区の特徴】

- 総括：松本市西部の暮らしを支える拠点**
- スーパーや2次医療機関(市立病院)、波田支所や図書館等、生活に必要な施設が集約立地している
 - 飛び地の市街地であり、安曇や奈川等の後背地まで含めた広域の住民が通院利用している
 - 人口減少・高齢化の進行が早く、生活に必要な施設の不足や公共交通のサービス水準の低下が懸念

【上位関連計画での位置づけ】

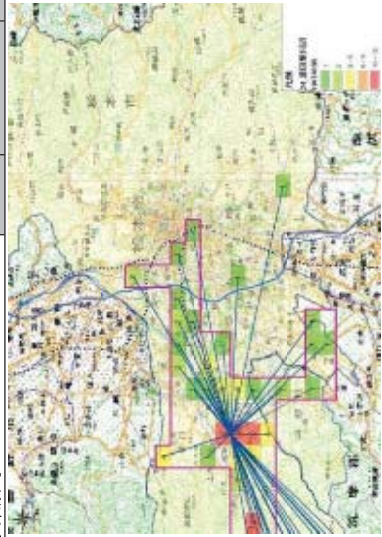
松本市都市計画マスタープラン
地区交流拠点(波田支所)、交通拠点(波田駅)、医療拠点(松本市立病院)

【基礎データ】

面積	66ha				
人口	30人/ha(H22)→30人/ha(H52)	▼:40人/ha未滿			
人口密度	24%(H22)→40%(H52)	△:市平均39%以上			
交通	アルピコ交通上高地線 波田駅	・乗降客数 1,074人/日(H26)			
アクセス	・運行頻度 50本/日(H26.3)				
	・C線、D線、E線 10~24本/日				
	施設	駅から500m	駅から500m~1km	合計	
行政	—				
商業	大規模集客施設(劇場、映画館等)※1 大規模小売店舗※大規模商業施設との重複あり 食料・日用品店舗(生鮮食品等) コンビニエンスストア	1 1 0 0	0 0 0 1	0 0 0 1	1 1 0 1
医療	高次の医療機関(2次・3次医療機関) 一般病院・診療所	1 3	0 2	1 5	1 2
福祉	高齢者福祉施設(地域密着型除く)※2 生き甲斐の仕組みをつくる施設※3	0 1	1 1	0 2	1 2
子育て	子育て支援施設(相談・支援の拠点)※4	1	2	1	2
金融	支店、郵便局等	2	2	2	4
文化	音楽ホール、文化ホール※5	0	1	1	1
教育研究	図書館分館 広域的に学生等が集まる学校※高校、大学等	1 0	0 0	1 0	1 0
事業	民間事業所等				

波田駅付近を
通院・買物等で利用
する住民の移動
(H26)

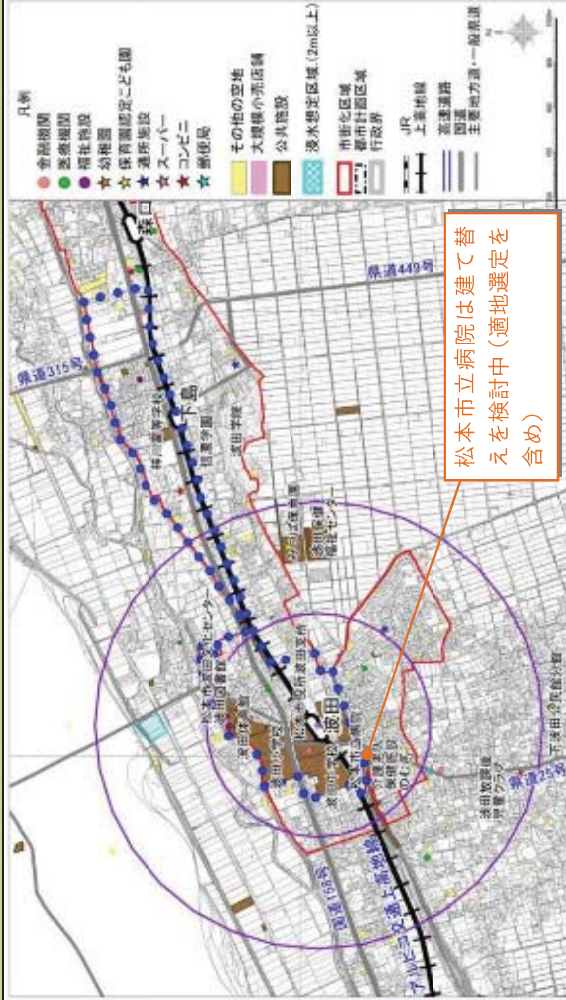
※松本市・山形村の在住者
を対象としたサンプル調査
でのトリップ数



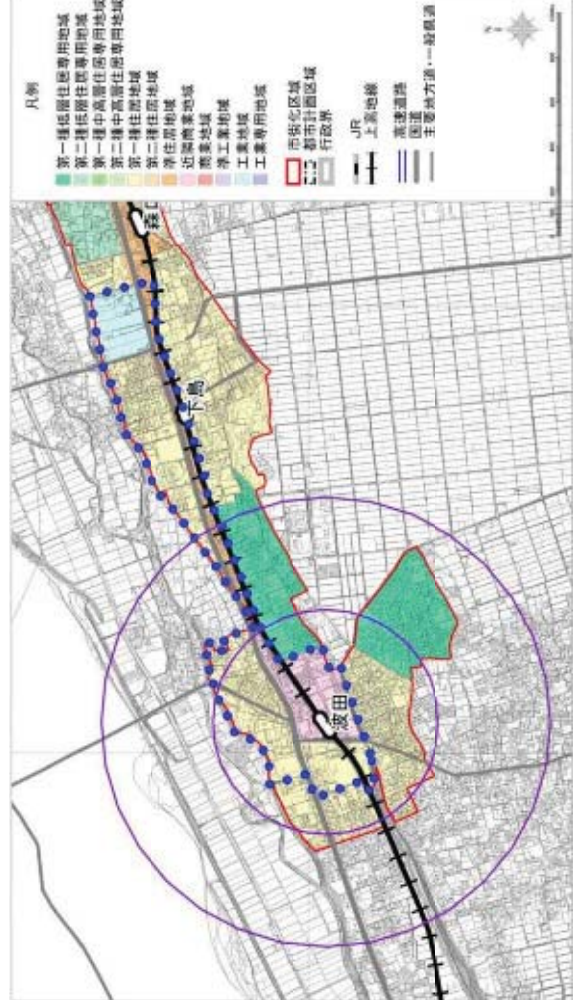
トリップ数の全市における割合 2.1%

市内 12 位

【区域図】



地形地物・
主要な敷地
との重ね図



用途地域
との重ね図

地域拠点⑥ 【寿台・松原周辺】

【地区の特徴】

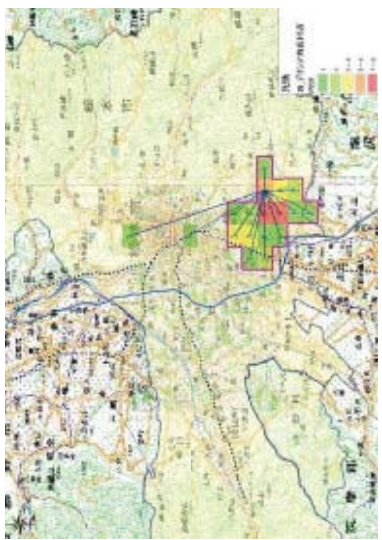
- 総括：郊外住宅団地の暮らしを支える拠点**
- バス停の周辺にスーパーや図書館等、生活に必要な施設が立地している
 - 飛び地の市街地であり、団地だけでなく周辺の住民も買い物等で利用している
 - 人口減少・高齢化の進行が早く、生活に必要な施設の不足や公共交通のサービス水準の低下が懸念

【上位関連計画での位置づけ】

松本市都市計画マスタープラン	医療拠点(まつもとと医療センター-中信松本病院)
面積	40ha
人口密度	50人/ha(H22)→~40人/ha(H52)
高齢化率	23%(H22)→~50%以上(H52)
交通	なし
アクセス	・寿台線、松原線、内田線 10~24本/日

【基礎データ】

	施設	駅から		合計
		500m	500m~1km	
行政	—	0	0	0
商業	大規模集客施設(劇場、映画館等)※1 大規模小売店舗※大規模集客施設との重複あり 食料・日用品店舗(生鮮食品等) コンビニエンスストア	0	0	0
医療	高次の医療機関(2次・3次医療機関) 一般病院・診療所	0	1	1
都市機能立地状況		7	2	9
福祉	高齢者福祉施設(地域密着型除く)※2 生き甲斐の仕組みをつくる施設※3	2	1	3
子育て	子育て支援施設(相談・支援の拠点)※4	1	3	4
金融	支店、郵便局等	2	0	2
文化	音楽ホール、文化ホール※5 図書館分館	0	0	0
教育研究	広域的に学生等が集まる学校※高校・大学等	1	0	1
事業	民間事業所等	0	0	0

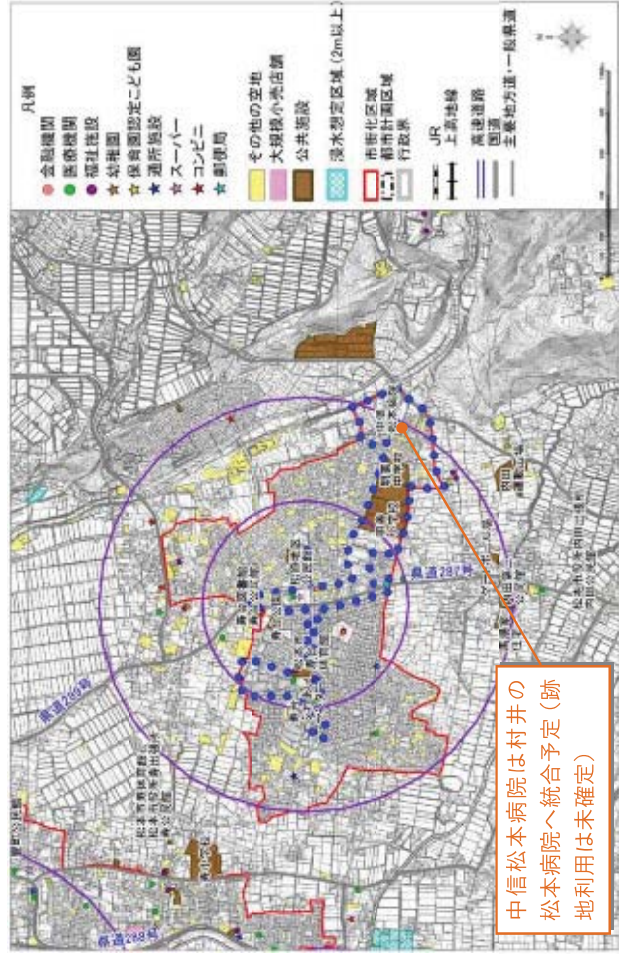


トリップ数の全市における割合 1.1% 市内 28 位

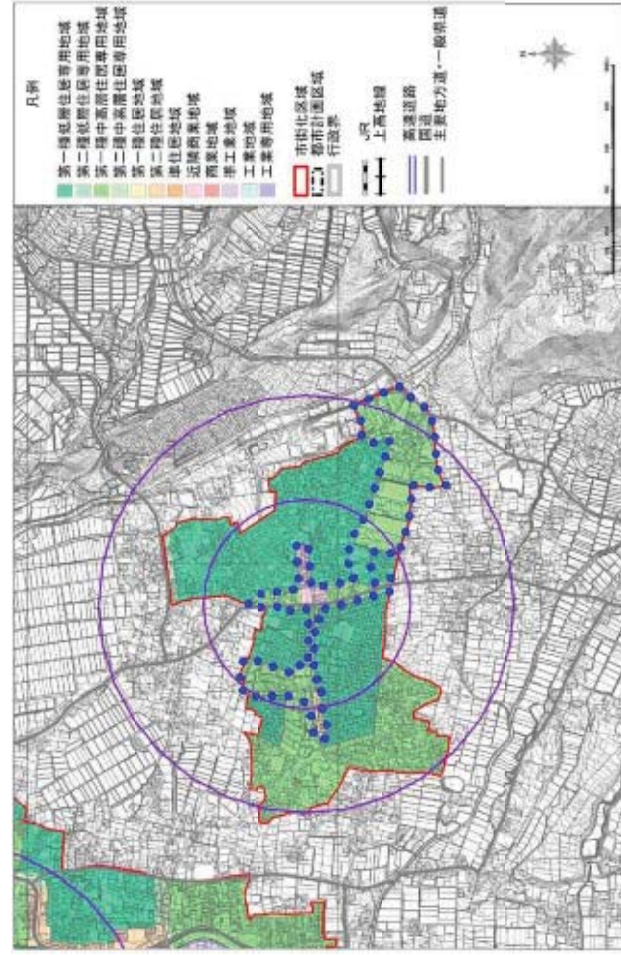
デリリア寿台付近を
通院・買物等で利用
する住民の移動
(H26)

※松本市・山形村の在住者
を対象としたサンプル調査
でのトリップ数

【区域図】



地形地物・
主要な敷地
との重ね図



用途地域
との重ね図

地域拠点⑦ 【信州大学周辺】

【地区の特徴】

総括：高度医療と研究・学生生活の拠点

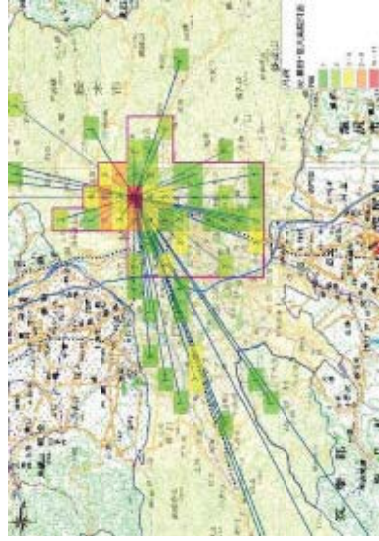
- 信州大学医学部附属病院を中心として、買い物等の生活に必要な施設が立地している
- 市全域に跨る広域の住民が信州大学医学部附属病院へ通院で利用している
- 人口減少の進行が早く、生活に必要な施設の不足や公共交通のサービス水準の低下が懸念

【上位関連計画での位置づけ】

松本市都市計画マスタープラン

【基礎データ】

面積	115ha			
人口	人口密度 43人/ha(H22)→～40人/ha(H52)	▼:40人/ha未満		
交通	高齢化率 26%(H22)→～30%以上(H52)	▼:市平均39%未満		
アクセス	鉄道 なし			
	バス ・北市内線 10～24本/日			
	施設	駅 500m	駅 500m～1km	合計
行政	—			
商業	大規模集客施設(劇場、映画館等)※1 大規模小売店舗※大規模集客施設との重複あり 食料・日用品店舗(生鮮食品等) コンビニエンスストア	0 1 0 1	1 2 0 6	1 3 0 7
都市機能 立地状況	医療 高次の医療機関(2次・3次医療機関) 一般病院・診療所	1 5	0 16	1 21
	福祉 高齢者福祉施設(地域密着型除く)※2	1	4	5
	子育て 生き甲斐の仕組みをつくる施設※3	2	2	4
	金融 子育て支援施設(相談・支援の拠点)※4	0	6	6
	文化 支店・郵便局等 音楽ホール、文化ホール※5	1 0	8 1	9 1
	教育研究 図書館分館	0	0	0
事業	広域的に学生等が集まる学校※高校・大学等 民間事業所等	1	2	3



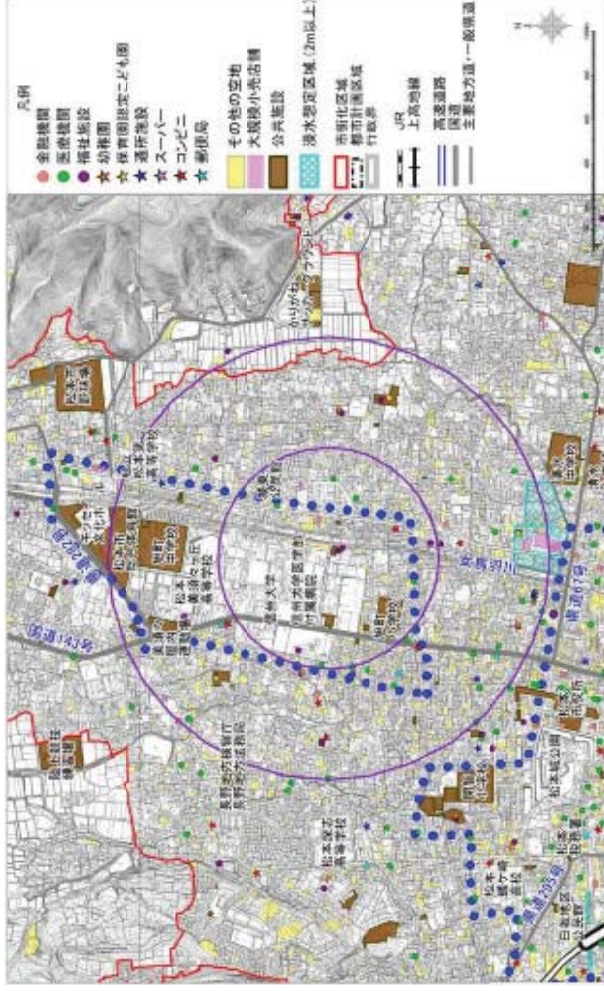
信州大学付近を
通院・買物等で利用
する住民の移動
(H26)

※松本市・山形村の在住者
を対象としたサンプル調査
でのトリップ数

トリップ数の全市における割合 3.2%

市内5位

【区域図】



地形地物・
主要な敷地
との重ね図



用途地域
との重ね図